

平成 2 4 年度 活動計画案 文化委員会

活動目標

1 人でも多くの人に本を読んでもらい、
読書習慣がつくようにする。

	活動	活動内容
4 月		
5 月	推薦本紹介Ⅰ	3 年生の各クラスの文化委員が推薦本を選び紹介ポスターを制作し、紹介する。
6 月	推薦本紹介Ⅱ	2 年生の各クラスの文化委員が推薦本を選び紹介ポスターを制作し、紹介する。
7 月		
8 月		
9 月	心を伝える キーボード及び けんぱんハーモニカの 貸し出し	合唱練習のためにキーボード(1 台)とけんぱんハーモニカ(2 台)を各クラスに貸し出す。
	第 1 回 読書強化週間	読書強化週間中、図書室で、本を借りた人数を調べ、一番多くの人数が本を借りたクラス(優秀クラス)を表彰する。優秀クラスには特典として、好きな本を数冊選んでもらい、学級文庫として一ヶ月間、置く。
1 0 月	心を伝える キーボード及び けんぱんハーモニカの 貸し出し	9 月と同様。

	活動	活動内容
1 1 月	心を伝える	クラスごとに群読と合唱を発表する。
	ふれあい文化旬間	文化系の部活の発表及び作品を展示する。
	第 2 回 読書強化週間	第 1 回と同様。
1 2 月		
1 月	推薦本紹介Ⅲ	1 年生の各クラスの文化委員が、推薦本を選び、紹介ポスターを制作し紹介する。
2 月		
3 月		

<年間を通しての活動>

図書当番	・ 2 クラスずつの文化委員が当番制で、図書室の開館と閉館し、(昼休憩・放課後)本の貸し出しの管理をする。 (3 年→2 年→1 年の順番)
学級文庫の管理	・ 各クラスに 1 0 冊の本を学級文庫として貸し出し、1 ヶ月ごとに本をローテーションする。 ・ 本が紛失しないように、文化委員が管理する。
図書だより	・ 新しく入ってきた本や、お薦めの本を紹介する 図書だよりを発行して、各教室に配布、掲示する。
読書カード	・ 読書カードを 1 人 1 人に作り、年間に何冊読んだかを記録する。読書カードの管理は、各自で行う。 年間に 2 0 冊、本を読むことを目標にする。
読書カードの集約	・ 文化委員は、委員会の前日にクラス全員の読書カードを集め、読書の状況を把握し、読書について呼びかける。

